

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【味酒小学校】

＜第4学年：心を結ぼう わたしたちの味酒野＞

「車椅子体験」「白杖体験」「手話体験」の三つのグループに分かれて福祉体験を行い、全児童が「高齢者体験」を行いました。

「車椅子体験」では、車椅子に乗ったり、押ししたりしました。少しの段差も、障害になることを感じました。「白杖体験」では、目隠しをして、ガイドヘルプを受けながら校舎内を歩きました。「手話体験」では、手話だけでなく、口の動きや表情も、大切なコミュニケーション手段であることを知りました。「高齢者体験」では、見えにくさや、体を動かすことの難しさを感じました。

普段聞くことのできない話を聞いたり、体験をしたりすることを通して、誰もが安心して生活するための工夫について考えるきっかけとなりました。



＜第5学年：防災味酒っ子知っとき隊＞

DCMの防災士中村さんにお世話になり、防災の学習を進めていきました。

DCM訪問時には、地震のメカニズムを学んだり、保温シートなどの防災用品の使用体験をしたりし、防災への知識を深めることができました。また、本校にも来ていただき、新聞紙スリッパを作成したり、非常用トイレの実験をしたりし、避難所での生活の仕方を学ぶことができました。





【味酒小学校】

＜第1学年：たのしいあきいっぱい＞

どんぐりを拾いに城山(松山城)へ出かけました。二の丸の黒門口から登山道を上り、二の丸庭園や石垣を見学しながら山の中へ入り、どんぐりをたくさん拾いました。

拾ったどんぐりで、やじろべえや迷路などのおもちゃを作りました。作ったおもちゃを使って、学年交流をしたり、園児を招いて遊んだりしました。また、城山公園で虫取りにも出かけ、バッタやカマキリなどの昆虫を夢中で追いかけてきました。



その後家族でも城山に出掛けて楽しむ子どももいました。城山の自然に触れ、そのよさや楽しさに気付きました。



＜第2学年：味酒野大好き＞

子どもたちは、おじいさんおばあさんが大好きです。そして遊びも大好き。地域のお年寄りの方々をお招きし、昔の遊びを教わりました。

どの遊びも最初はなかなかうまくできません。地域の方々もにこにこ子どもたちの様子を見ていましたが、少しずつコツを教えて下さり、最後には子どもたちと「できた!」「上手だね」と喜んでくださいました。最初は恥ずかしがっていた子どもたちも、だんだんと地域の方と打ち解けていき、終わりの時間が近づくと「もっと教えてほしい」「まだ遊びたい」と名残惜しそうでした。最後に手作りのしおりをプレゼントしました。交流後は「おじいちゃんたちは優しかったよ」「分かりやすく教えてくれたから上手になったよ」「また教えてほしい」等の感想を持ちました。

